

おうちの図工室・美術室

新しい線を生み出すカラダ

対象学年 中学1年生

想定時間 1時間

題材の内容（子どもたちへ語りかける言葉の例）

いつもあなたはどんな風に文字を書いたり、線を描いたりしているでしょうか。

いつもと違う体の使い方をしたら、どんな線が描けるでしょうか。

ひょっとしたら、すごく味のある、すごく魅力的な線が描けるかもしれません。

自分が思いもしないような線が引けるかもしれません。

普段とは違う自分の線は、不器用で、スマートじゃないかもしれないけれど、くすっと笑えたり、癒されたり、驚いたりする、と一つでも個性的な味のある線をひけるかもしれませんよ。

まずは、①～③の指示に沿って、線を描いてみましょう。次に、今度は自分で考えた、新しい体の使い方をして線を生かして何かを描いてみてください。最初から自分で考えたかったら、それでもかまいません。そして、普段とは違う個性的な線の良さを見つけてください。いわゆる「上手」とは違う良さかもしれません。自分の言葉でほめてあげてください。むしろその味のある線が大評判になるかもしれませんよ。

- ① 利き手じゃない方で描いてみよう
- ② 足をつかって描いてみよう
- ③ 後ろに手を伸ばして描いてみよう

用紙はなんでも構いません。

絵の具、色鉛筆、マーカーや、クレヨン等、あなたが使いたい道具を使ってください。線を描いて気が付いたことや、思ったことなどの感想も別の紙に書いてくださいね。

できるだけたくさんの線を見つけてみましょう。

提出日は〇月〇日の登校日です。でも、早く先生に見てほしい人は、写真にとって、下のアドレスまで添付で提出してください。そのとき、別の用紙に書く文章は打ち込んでくださいね。

ANCS としてのねらい

自己を深める

共感性

深く見つめる

社会への広まり

共感性

自分と他者との体格や体の使い方について想像を膨らませることや、普段と違うことによる良さを見つけることは、自分とは異なる多様な他者を受け入れる姿勢を培う一歩になります。

深く見つめる

自分の体への力の入れ方や姿勢と、描くこととの関係を考える経験は、身体性が世界との関係性を捉える姿勢につながります。

三観点

知識・技能

線の多様さや様々な体の使い方を表現に生かしている。

思考・判断・表現

描かれた線の強弱や長さから、多様な体の使い方を考えることができる。個性的な線の面白さや表現の多様さを感じ、自分が感じた良さを表現することができる。

主体的に学習に取り組む態度

様々な線を描くために、いろいろなやり方を試そうとしている。

おうちの図工室・美術室

活動の足あと・子どものことば

